

南山城三十三所巡りin 精華

集合場所 : 祝園駅東口前
解散場所 : 近鉄狛田駅前 (JR 下狛駅)
所要時間 : 6 時間

第十番 祝園
禪福寺

第十一番 南左
願成寺

【廃寺】

第十三番 北福入間
観音寺

第十四番 北福入間
岡本寺

【廃寺】

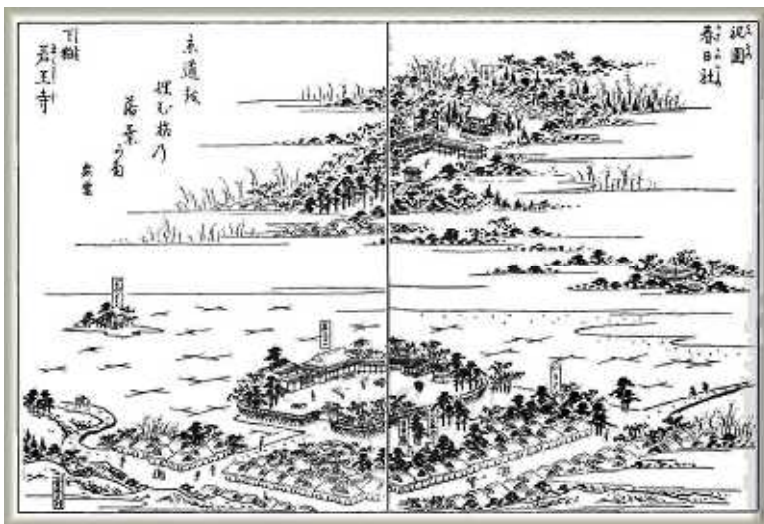
第十五番 僧坊釋岡山
神宮寺

【廃寺】

第十六番 下狛僧坊
若王寺

第十七番 菱田
長福寺

【廃寺】



僧坊 若王寺 (「拾遺都名所図会」)



コース・約 8 km

巡礼の道、第十一番～第十七番を歩きます。

持ち物：弁当、お茶、タオル、雨具など

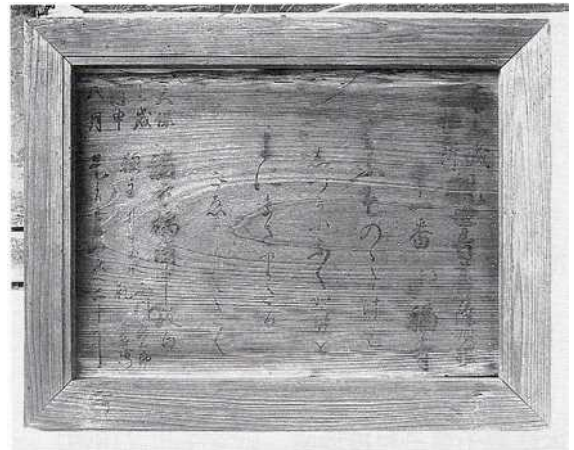
南山城三十三所は、貞享のころ（一六八四〜八八）相楽郡綺田村（山城町内）の東光寺に住む「じよはん」（如範）という僧が、篤く観音を信仰し、西国巡礼にならって南山城内に三十三の霊場を選び、御詠歌を作って人々に勧めたといつものである。

南山城三十三所の札所は、加茂町五、木津町五、精華町七、田辺町七、井手町三、山城町六で、計十里二十六丁（約四二軒）の行程でした。これは当時でも数日で一巡できる距離で、綴喜・相楽二郡の代表的な観音霊場が選ばれていた。

山城町上粕林の小林家に残る南山城三十三所巡礼記『巡礼記』は、小型の懐中本で、それによると、貞享のころに成立し、賑わっていた南山城三十三所も次第に廃れてしまったので、天保六年（一八三五）九月、井手郷玉水の橘講が復興しようとして、原本のまま『巡礼記』を再刊したといつ。

明治維新期の神仏分離政策と、それに続く廃仏毀釈、寺院の統廃合により、『巡礼記』の三十三所のうち、約半数の十七カ寺が廃寺となったが、そのうち半数が宮寺であった。こつして南山城三十三所は消えていった。

如月会 江戸時代の南山城三十三所を訪ねてより



南山城三十三所巡礼額 11番禅福寺

<p>十番 せんのぼり 井手町五丁目 井手郷玉水の橘講が復興しようとして、原本のまま『巡礼記』を再刊したといつ。</p>	<p>まふそのくさけも 赤いふくくせと よにまきりたる こゑりくさきく</p>
--	--

<p>十一番 ぶらんげ 井手町三丁目 井手郷玉水の橘講が復興しようとして、原本のまま『巡礼記』を再刊したといつ。</p>	<p>いまげまやあふ あめまきいむの 祿ぐひのまこれ てくとたりり</p>
--	--

<p>十二番 せんぼん 井手町七丁目 井手郷玉水の橘講が復興しようとして、原本のまま『巡礼記』を再刊したといつ。</p>	<p>よととらふみふも あつらいたやづま む成たのここと これもふん</p>
--	---

<p>十三番 ちんげ 井手町八丁目 井手郷玉水の橘講が復興しようとして、原本のまま『巡礼記』を再刊したといつ。</p>	<p>おりになるまき なつとあやむと のりれまきこ やるまたりたり</p>
---	--

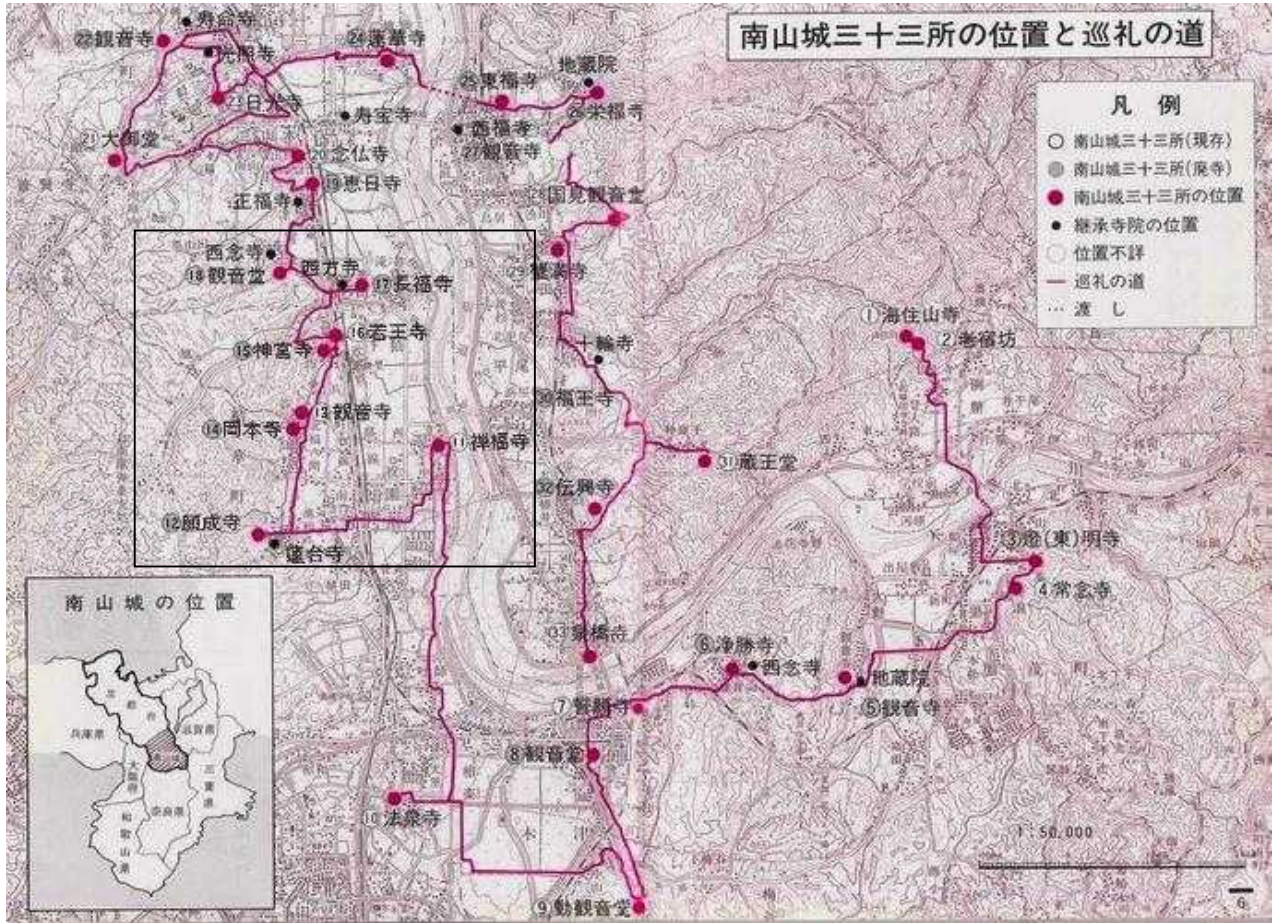
<p>十四番 せんげ 井手町八丁目 井手郷玉水の橘講が復興しようとして、原本のまま『巡礼記』を再刊したといつ。</p>	<p>一すにあらよの ともいのやまお らつとあやまのふ のがりたるたな</p>
---	--

十七番 妙法蓮華經
 本尊 十一面観音 二月八日
 是のまゝ此のまゝ七丁

十八番 妙法蓮華經
 本尊 十一面観音
 是のまゝ此のまゝ七丁

十九番 妙法蓮華經
 本尊 十一面観音
 是のまゝ此のまゝ七丁

二十番 妙法蓮華經
 本尊 十一面観音
 是のまゝ此のまゝ七丁



南山城三十三所観音霊場一覧 (精華町内)

霊場名	『巡礼記』 の本尊	所在地 (廃寺跡は推定地を含む)	合併および 継承寺院	現存	廃寺
				備考	
祝園 禅福寺	十一面観音	精華町祝園国友 36			
南庄 願成寺	十一面観音	精華町南稲八妻政ヶ谷 45	蓮台寺		寺跡は現在民有地
北稲八間 観音寺	十一面観音	精華町北稲八間焼山 35			寺跡は北稲区集会所
北稲八間 岡本寺	聖観音	精華町北稲八間焼山 35			当寺へ観音寺が移転
僧坊 神宮寺	十一面観音	精華町下狛長芝 24			鞍岡神社境内石段上の北
僧坊 若王子	千手観音	精華町下狛林前 9			
菱田 長福寺	十一面観音	精華町菱田十の坪 21-1	西方寺		寺跡は菱田区集会所

第十番 花園 禪福寺

臨濟宗妙心寺派

普門山 禪福寺

ほうその(禪福寺)
十一番 ぜんふくじ
本尊十一面御たけ二尺五寸
是よりみなみ庄へ二十丁

(祝園)
はふその、たけも
しづかに ふくかぜを
よにまさりたる
こゑかとぞきく



持国天立像

十一面観音立像



寺伝は聖武天皇の命により天平年間(七二九〜四九)の創建と伝える。応仁の兵火に遭い、大永二年(一五二二)に再建したがその後も度々焼失し、文化二年(一八〇五)悦川和尚により復興される。

本堂には、木造十一面観音立像(玉眼嵌入)と、時國天・多聞天立像が安置され、南山城三十三所の御詠歌の額もかけられている

第十三番 南左 願成寺

【廃寺】

十一面観音 安置

蓮台寺

みなみしょう(願成寺)
十二番 ぐはんぜうじ
本尊十一めん御たけ一尺五寸
是より北いなやつまへ八丁

(稲妻)
いなづまや ふる
あめまでも此むらの
(願)
ねがひのまゝの
(寺)
てらをためしに



願成寺の石造物群

聖観音菩薩



薬師堂



維新直後、明治政府の神仏分離・神道国教化政策よって全国の寺院の半数が廃寺になった。山城国一揆の最後の砦となった稲八妻城が攻め亡ぼされた際(明応三年、一四九三)に、討ち死にした人々の慰霊のため政ヶ谷に建立された、と伝えられる願成寺もその余波を受け、明治七年廃寺となった。

第十三番 北稻八間 観音寺

真言宗智山派

和光山 観音寺

北いなやつま(観音寺)
十三番 くわんおんじ
本尊十一面御たけ五尺
是よりおかもとへき丁

(世)
よをすくふ なにも

しらるゝ いなやつま

(名)
なをたのみこそ

たれもかけけれ



観音寺遺跡



十一面観音立像

観音寺旧本堂



(町指定文化財)

真言宗・智積院末寺で、延宝四年(一六七六)僧侶の托鉢により建立されたと伝えられている。

明治の初め北稻八間村小学校をこの地に設置することになり、廃寺であつた今の岡本寺境内に移された。この寺は古くから観音講を中心に維持されている。

第十四番 北稻八間 岡本寺

継承寺院

観音寺

北いなやつま(岡本寺)
十四番 おかもとでら
本尊聖観音御長一尺八寸
是より僧坊みやてらへ八丁

(立)(形)
おかもとにたつすぎ

ならでしるしにも

(法)
のりのすがたの

(柳)
やなぎなりけり



岡本寺の本尊と思われる菩薩形立像



旧岡本寺 全景

明治初年廃寺となる。

創建年代は定かでない、檀家の無い信者寺で地域の人たちに支えられていた。

遺された位牌から見て、江戸時代の領主村雲御所瑞龍寺関係者の菩薩を弔うことに関係があつたのではないかとおもわれる。

【廃寺】

第十五番 僧坊鞍岡山

神宮寺

【廃寺】

第十六番 下柏僧坊

若王寺

十一面観音 安置

若王寺

そつぼうくらおかやま(神宮寺)
十五番 じんぐうじ

本尊十一面御たけ八寸

これよりにやくわうじへ二丁

一すじに ふたよ(二世)

ことも いのりおく

くらをかやま(鞍岡山)

のぼりけるかな



若王寺に残る「神宮寺」銘の石塔土台



十一面観音坐像

鞍岡神社の境内にあつた宮寺
鞍岡神社は、寛弘五年(一〇〇八)京
都北野社より勧請し創立されたとい
われ、明治十六年(一八八三)に
鞍岡山天満宮から鞍岡神社と改称
した。
昔は石段の中程から右へ脇道が
あり、神宮寺へ通じていたらしい
が、今は登りつめた北側の平坦地の
林が寺跡だと、神主さんに案内され
る。
神社麓の若王寺大師堂前には、文
龜元年(一五〇一)の石塔土台があ
り、堂内には、神宮寺の本尊かと思
われる十一面観音坐像が安置され
ている。

浄土宗西山禅林寺派

鞍岡山 若王寺

(若王子)

十六番 にやくわうじ

本尊千手御たけ二尺五寸

これよりひしだへ六丁

しるべある ときに

まかせて しもつこま(下狛)

わかきもおひも(若老)

十二へひとこゑ



智証大師坐像



千手観音菩薩像

寺伝によると行基の創建とあり、
また貞観三年(八六一)三井寺の智
証大師円珍が、この地に開いた円満
院との縁をひく寺とも伝えられ、源
平争乱で焼失した。

その後、桃山時代に僧経空慈典が
京都の禅林寺(永観堂)から梵鐘を譲
り受け当寺を復興したそうです。

大師堂の智証大師坐像は、平安後
期の作で重要文化財です。同じ大師
堂に、千手観音菩薩像が安置されて
おり、お堂の前には百六十年前に奉
納された詠歌額がかけられています。



第十七番 菱田 長福寺

【廃寺】

十一面観音 安置

西方寺

ひしだ (長福寺)
十七番 ちやうふくじ
本尊十一面御長二尺八寸
是よりみちのくちへ七丁

(道)(問) みちとひし (田)(面)
たのもを

すぎて いるてらに

(説法) とくのりのみを

(尊) みるぞたうとき



西方寺・観音堂



長福寺跡

廃寺となった年月日は未詳。
長福寺の本尊や什物は近くの西方寺
に引き継がれた。

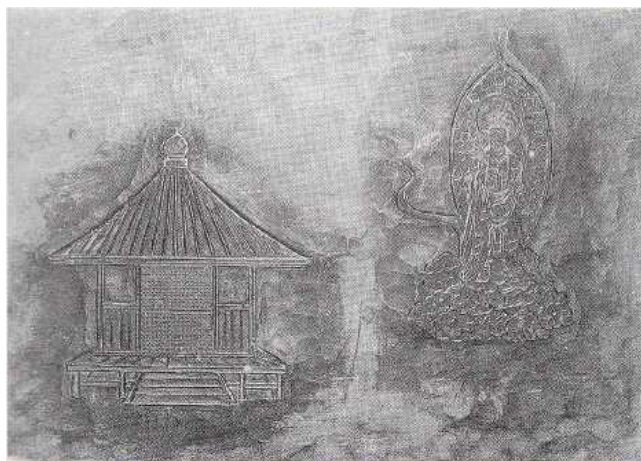
天保八年(一八三七)の版木が残っ
ていて、文政十三年(一八三〇)出火、
本堂客殿共に焼失、本堂再建が自力で
は困難ゆえ、助力を希う^{こいねが}とあり、も
う片面には観音堂と観音像が刻まれて
いる。

本尊の十一面観音立像(室町時代の
作)は、安産の仏として信仰され、西
方寺の門を入り右手にある観音堂に安
置されている。

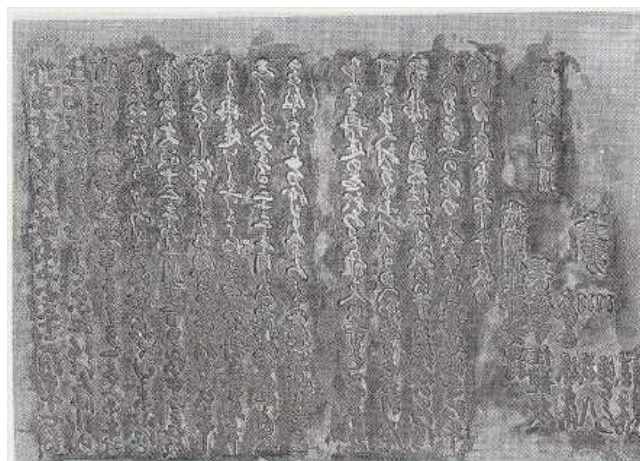
寺跡には菱田区集会所が建っている。



十一面観音立像



長福寺の十一面観音の姿と観音堂の版木



長福寺観音堂再興勸進状版木

精華町 西方寺蔵